

経営比較分析表（令和元年度決算）

埼玉県 春日部市

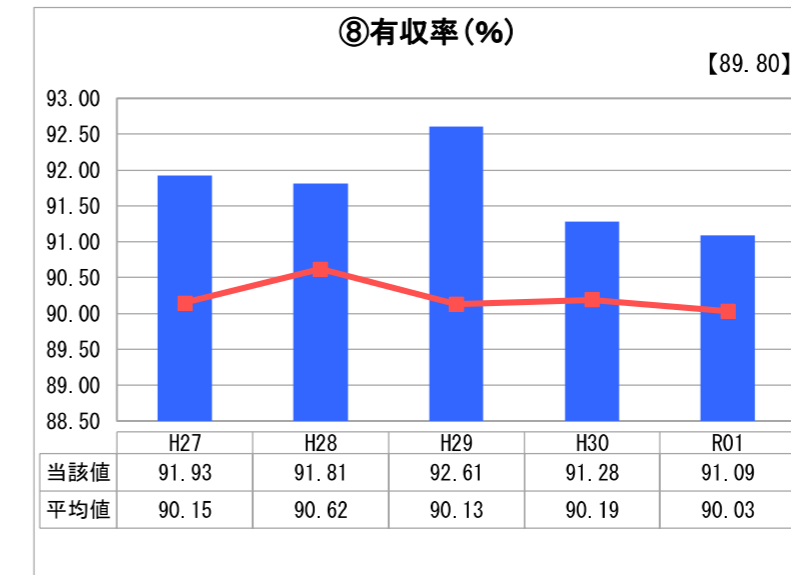
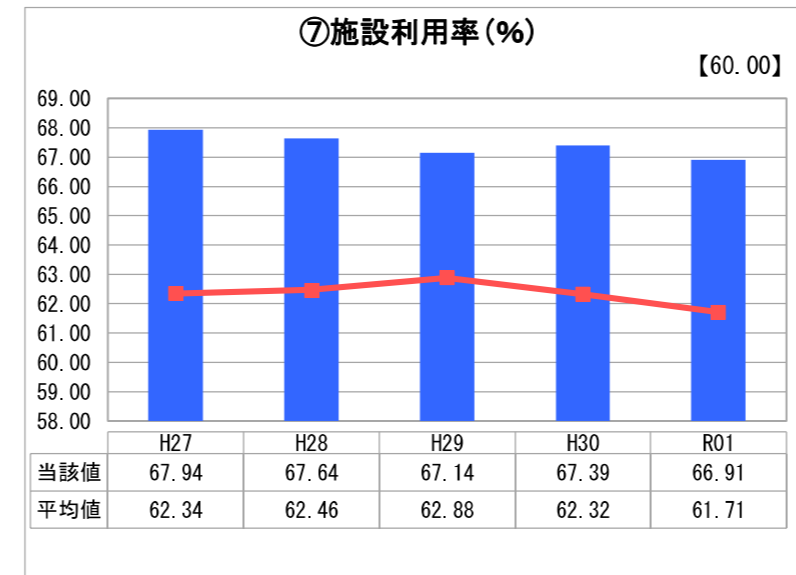
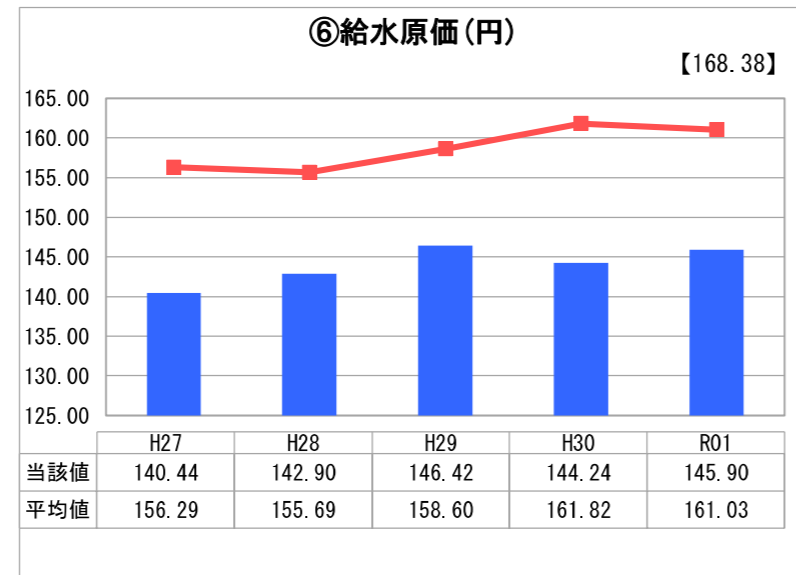
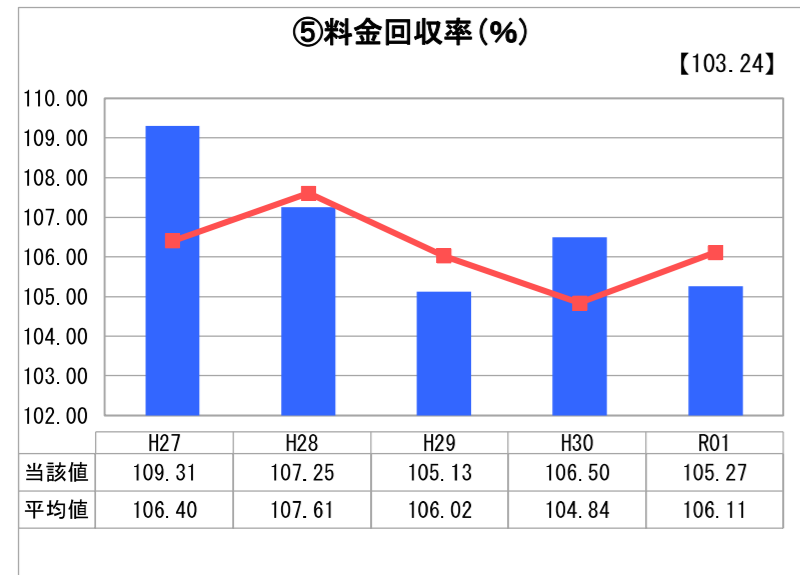
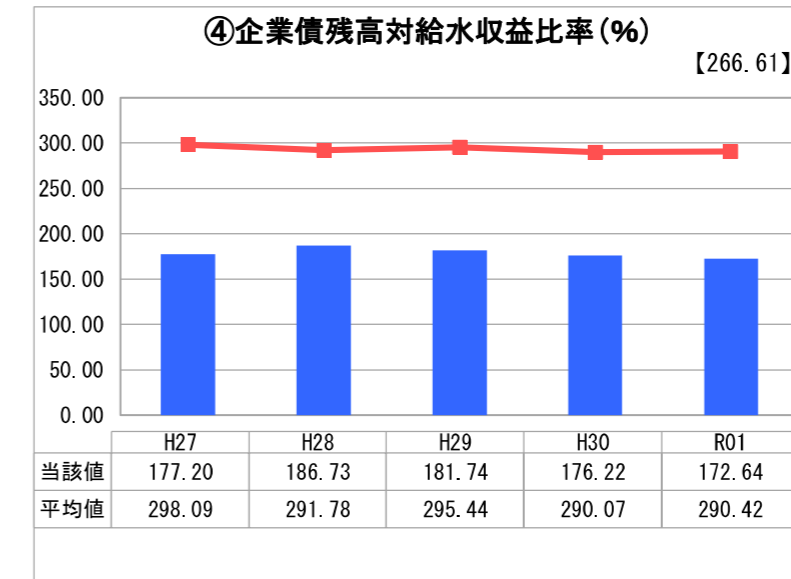
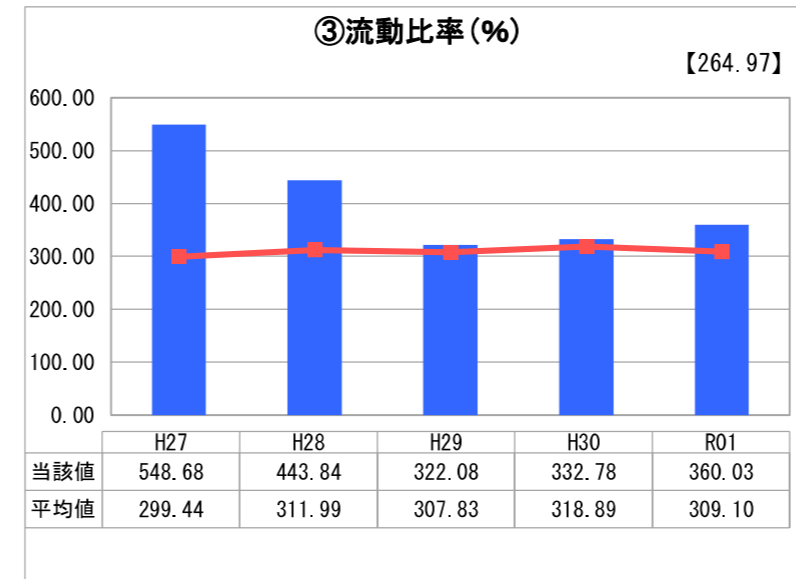
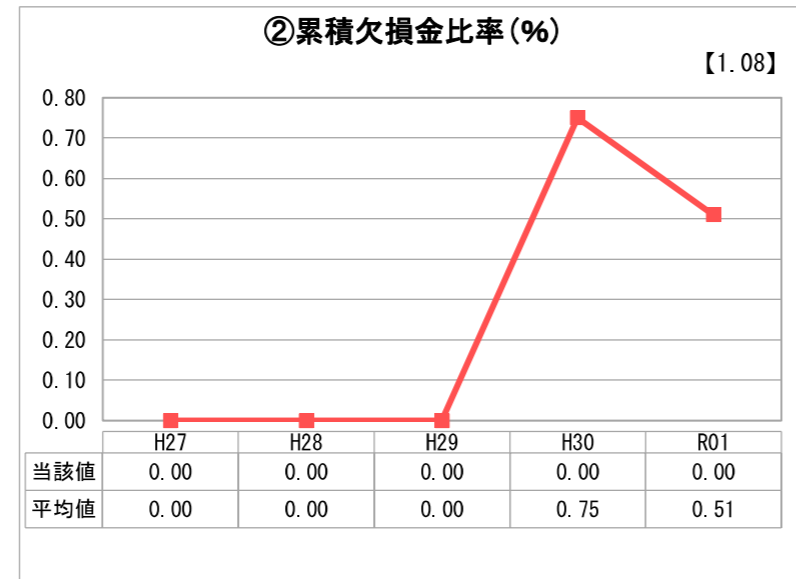
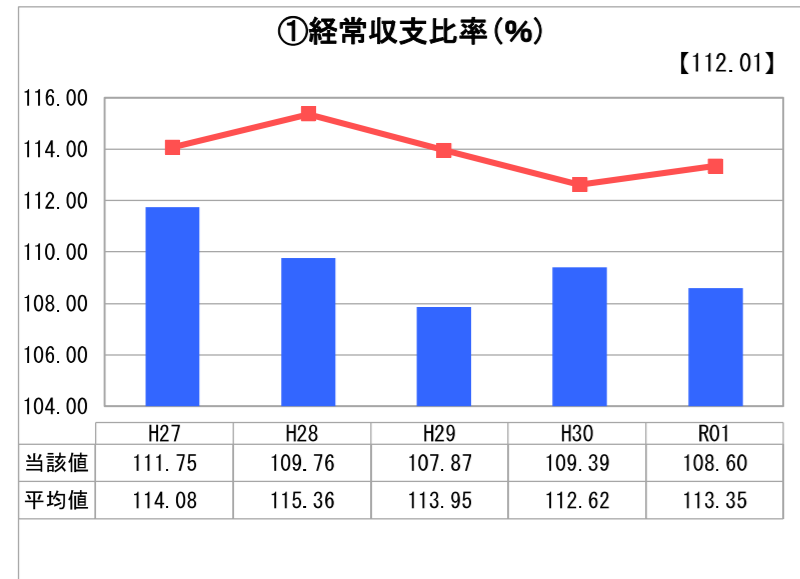
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A2 | その他 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 71.92 | 99.97 | 2,684 | |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 234,137 | 66.00 | 3,547.53 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 233,777 | 66.00 | 3,542.08 |

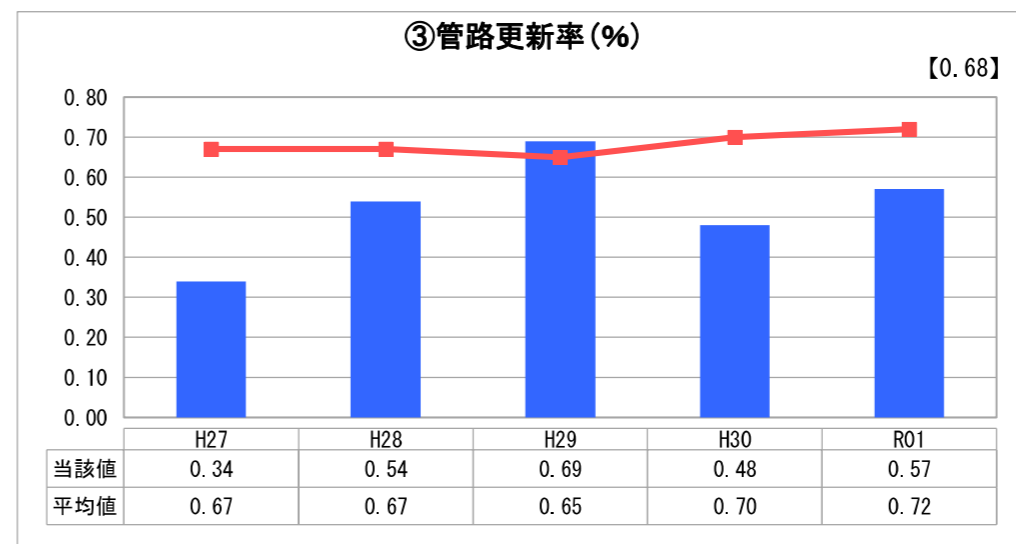
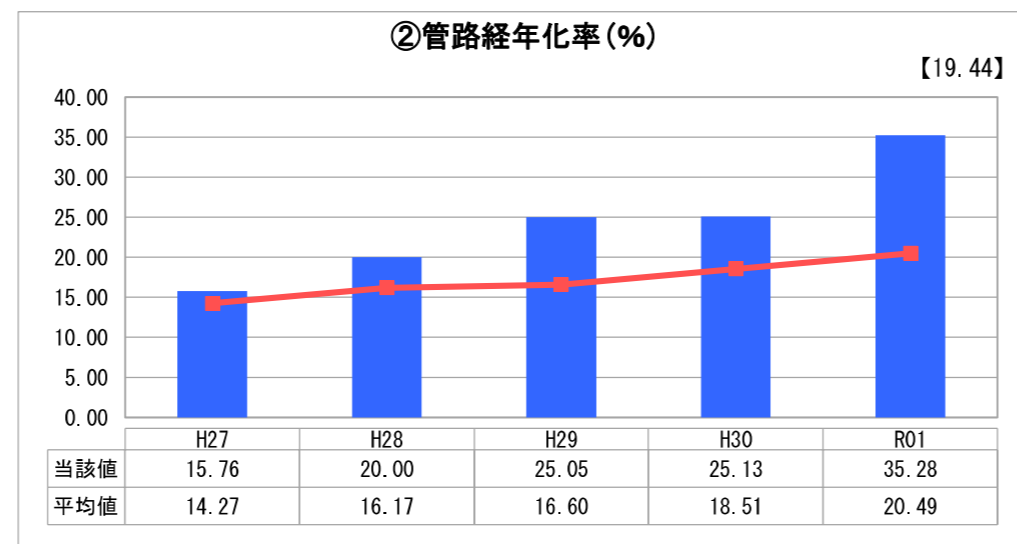
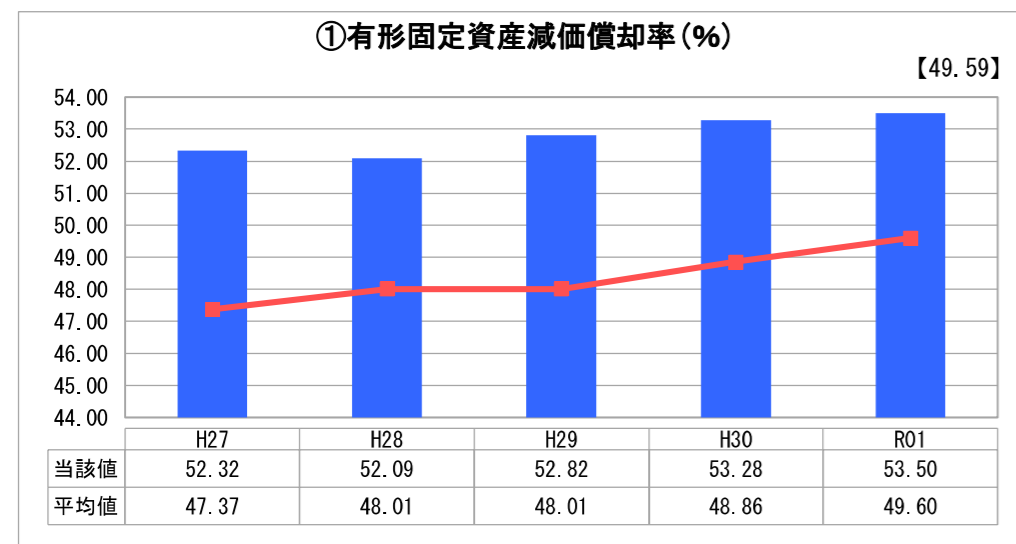
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%を上回っているが、下降傾向となっている。また、類似団体平均値を下回っており、将来の更新財源が確保されているとは言い難い状況である。
 ②流動比率は、100%を上回っており、短期的な債務に対する支払能力に問題はない。
 ③流動比率は、100%を上回っており、短期的な債務に対する支払能力に問題はない。
 ④企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均値を大きく下回っているが、将来世代の負担が過大とならないよう、企業債残高を適正に管理（発行の抑制）していく必要がある。
 ⑤料金回収率は、100%を上回っているが、水需要の低下に伴う下落傾向が続いており、経営状態は厳しさを増している。
 ⑥給水原価は、類似団体平均値を下回っているが、施設の老朽化に伴う修繕費や委託費などが増加傾向にあり、今後も上昇が見込まれる。
 ⑦施設利用率は、類似団体平均値を上回っているが、給水量の減少に伴って下降傾向にあり、水需要を考慮しながら効率的な運用に努める必要がある。
 ⑧有収率は、類似団体平均値を上回っているが、引き続き漏水調査や老朽管の更新などの漏水対策を行い、有収率の更なる向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は50%を超えており、法定耐用年数に近い資産が多いことを示している。
 ②管路経年化率は類似団体平均値を上回っており、法定耐用年数を超えた老朽管が多いことを示している。更に、今後は高度経済成長期に布設した多くの配水管が耐用年数を迎えることから、管路更新ペースの向上が求められる。
 ③管路更新率は類似団体平均値を下回っており、将来に渡って安定供給していくためには、法定耐用年数の40年を経過した管路等を計画的に更新し、更新率を向上させることが不可欠である。

全体総括

水需要の低下や老朽化した施設の更新等、経営状況は厳しさを増しており、経営戦略等に基づく計画と現状との乖離に注意を払いながら、経営環境の変化に着実に対応していく必要がある。また、健全な事業運営を継続していくためには、計画的な施設の更新が不可欠であり、アセットマネジメント計画の見直しや、更新財源を確保するため、料金改定を含めた様々な財源確保策を検討していく必要がある。

経営比較分析表（令和元年度決算）

埼玉県春日部市 春日部市立医療センター

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|---------|---------|---------|---------------|------------|
| 条例全部 | 病院事業 | 一般病院 | 300床以上～400床未満 | 自治体職員 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 24 | 対象 | 未 訓 ガ | 救 臨 が 感 輸 |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| 234,137 | 33,600 | 非該当 | 7 : 1 | |

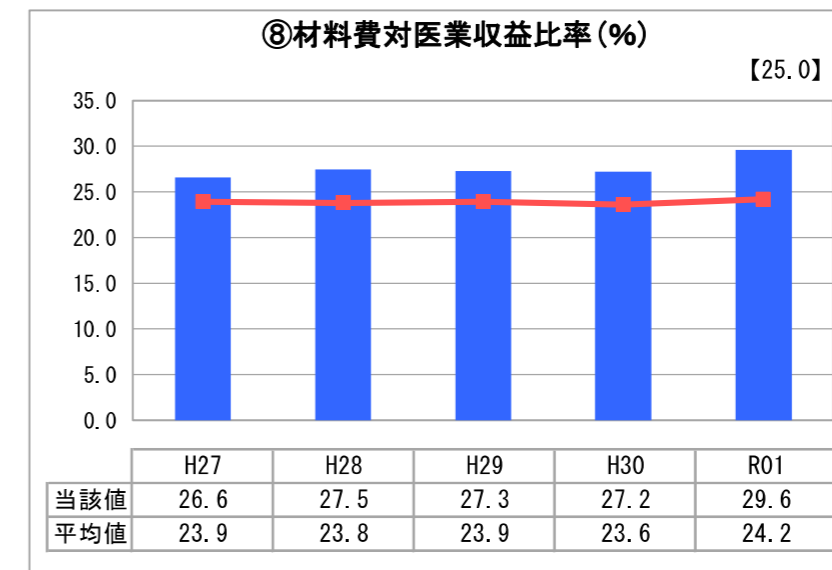
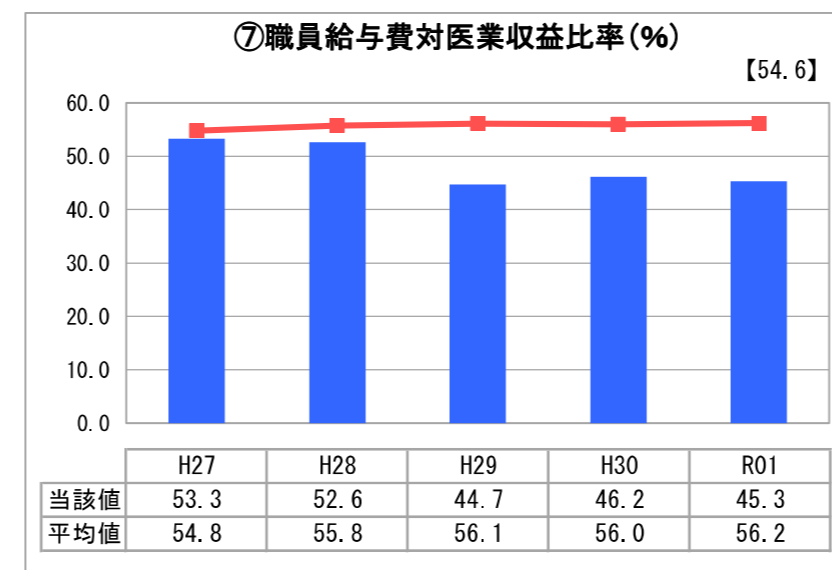
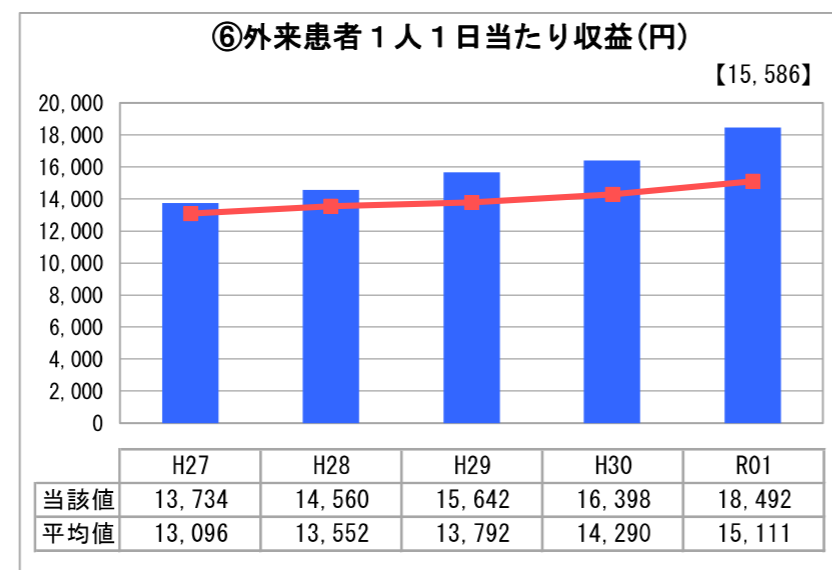
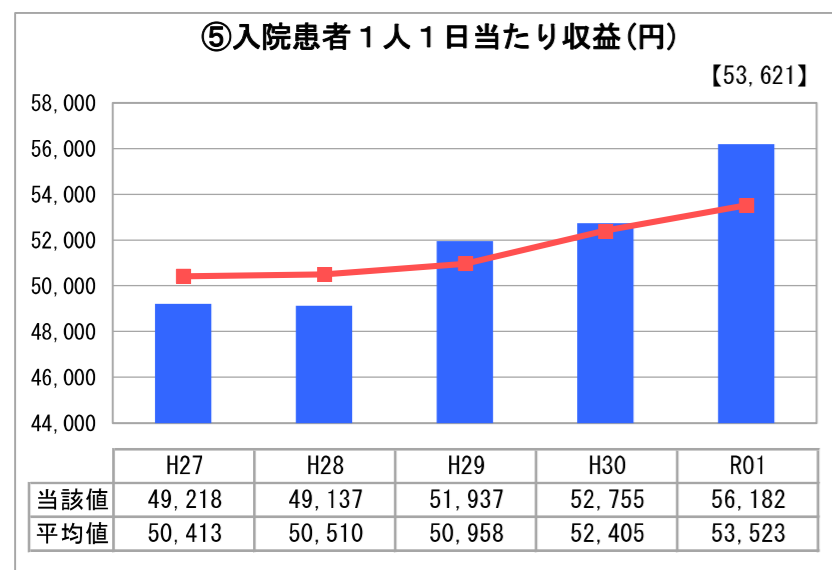
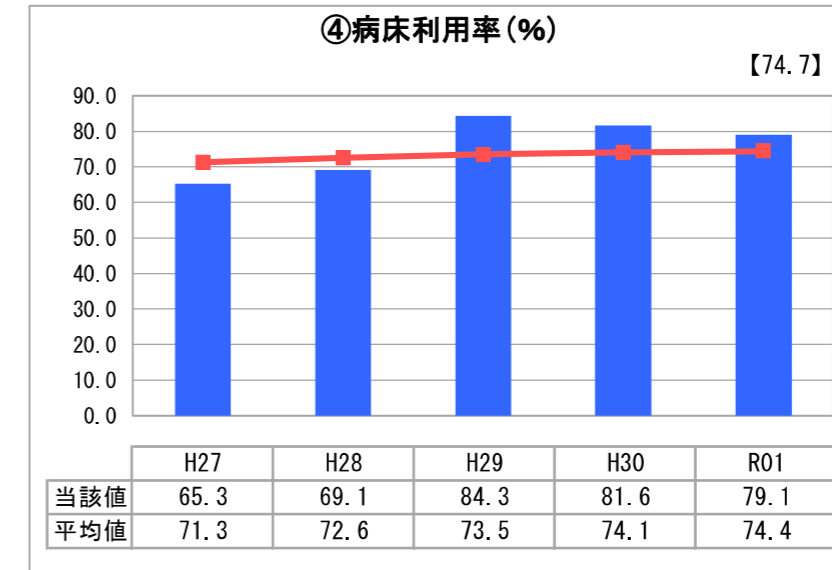
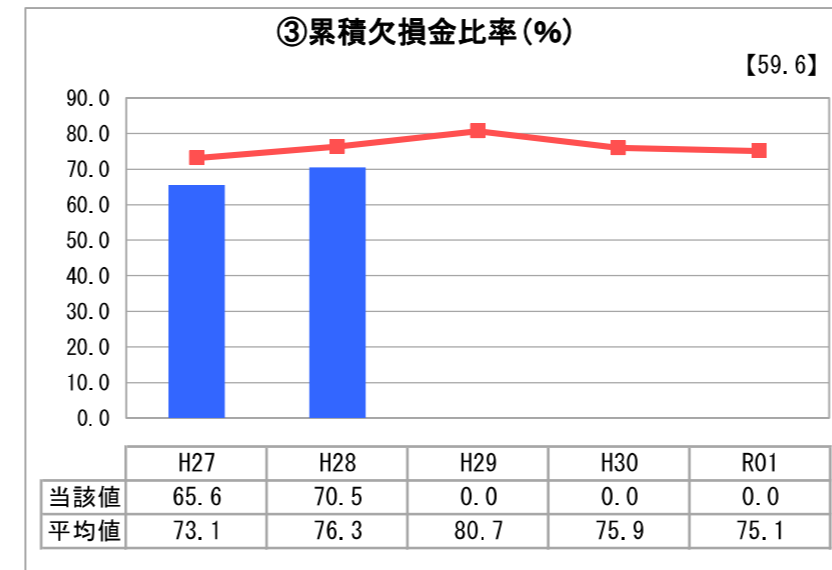
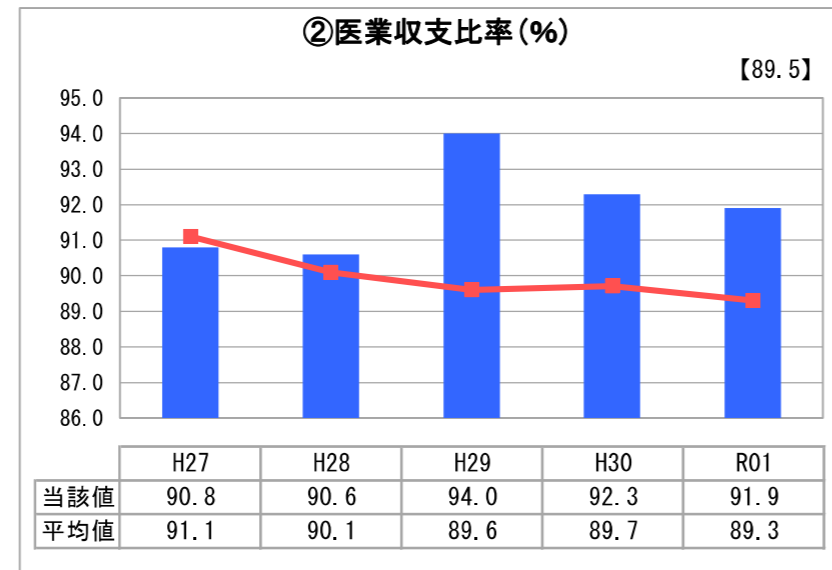
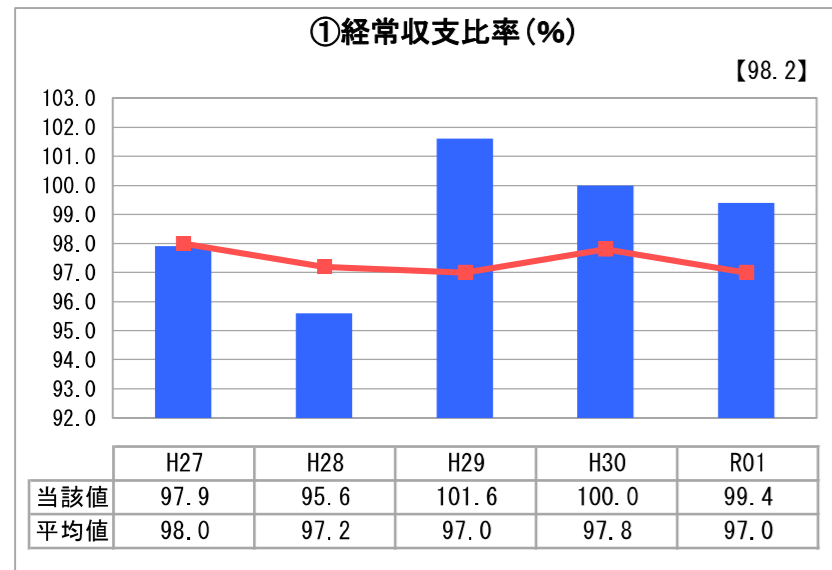
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

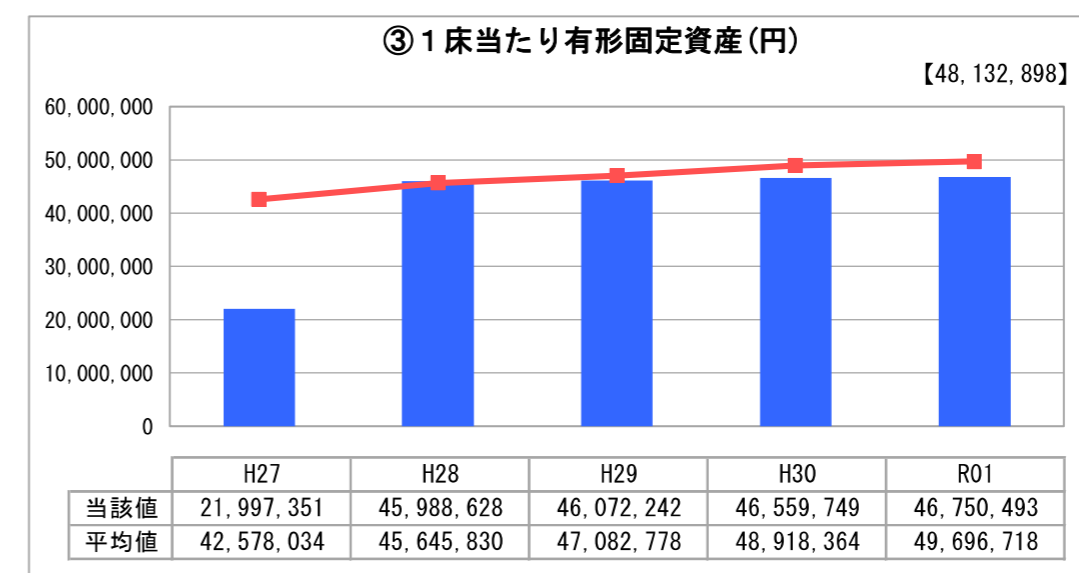
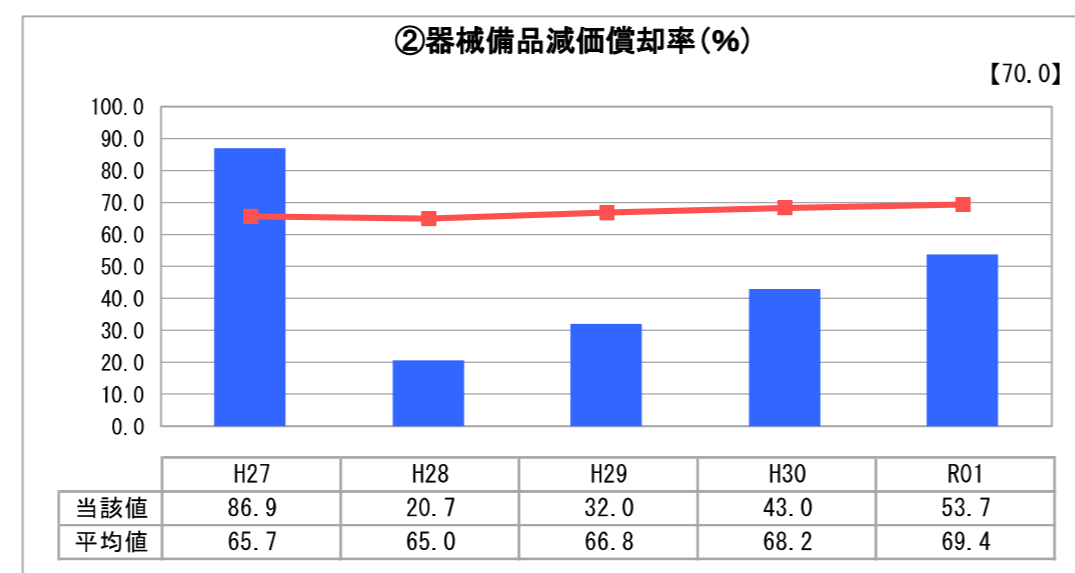
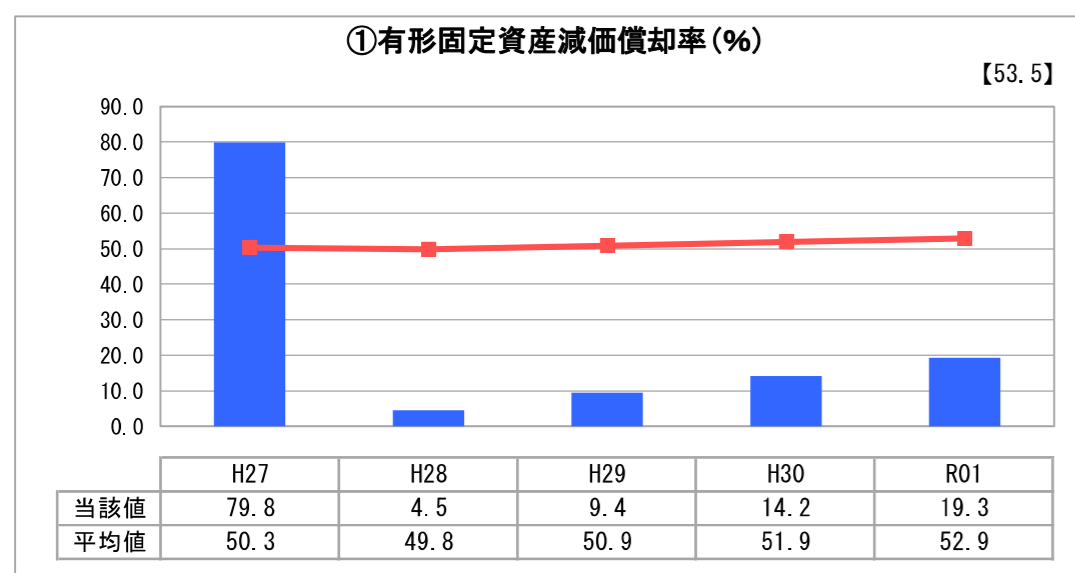
| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|----------|-----------|-------------|
| 361 | - | - |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| - | 2 | 363 |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養） | 稼働病床（一般+療養） |
| 352 | - | 352 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該病院値（当該値） |
| — | 類似病院平均値（平均値） |
| 【】 | 令和元年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| - 年度 | - 年度 | - 年度 |

I 地域において担っている役割

医療連携体制を支える地域の基幹病院として、地域で不足する専門的な医療を実施している。また、地域がん診療連携拠点病院として、先進的な設備や医療機器を導入し患者受け入れ態勢の強化を図るとともに、小児、周産期、救急、災害時医療などにおける地域拠点病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②医業収支比率は、入院・外来収益とも診療単価の増により増加したものの、人件費、材料費等が増えた影響により低下した。
③累積欠損金は、平成28年度決算時に解消した。
④病床利用率は、短期入院の抗がん剤治療件数の増により若干低下したものの、類似病院平均値を上回った。
⑤入院患者1人1日当たり収益は、入院患者数は減少したものの、高額な抗がん剤治療件数の増により増額となった。
⑥外来患者1人1日当たり収益は、高額な薬品を使用する抗がん剤治療の影響で増加傾向である。
⑦職員給与対医業収益比率は、職員給与費が若干増加したものの、類似病院平均値を下回る水準で推移している。
⑧材料費対医業収益比率は、高額な抗がん剤の使用の増により高く推移している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率は、新病院建物等の減価償却が始まったことで若干上昇したものの、当面は老朽化の問題はない。今後は施設等の経年劣化、医療器械の計画的な更新に備えていく。
③1床当たり有形固定資産は、新病院建物、構築物および新規導入した医療器械等の計上に伴い、高く推移している。

全体総括

当センターの経営状況については、入院収益は前年度と比較して小幅な伸びとなったものの外来収益は大幅な増となり、医業収益全体では前年度を上回った。今後も引き続き材料費や経費の削減を図りながら、中期実施計画に基づき病診連携・病病連携を進め、手術件数、紹介率および逆紹介率の向上を図るとともに、救急医療体制の強化と新規入院患者を増やす取り組みを実施し、入院・外来収益を確保することにより安定した持続可能な経営基盤を確立していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

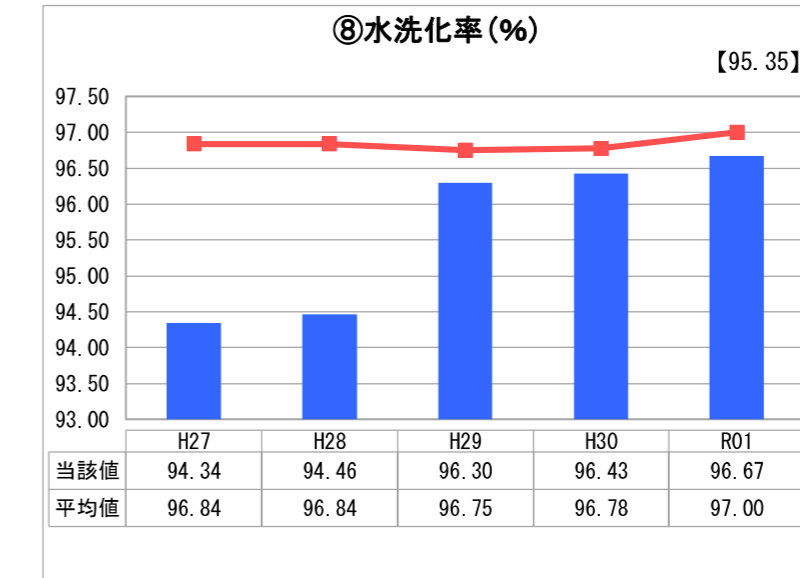
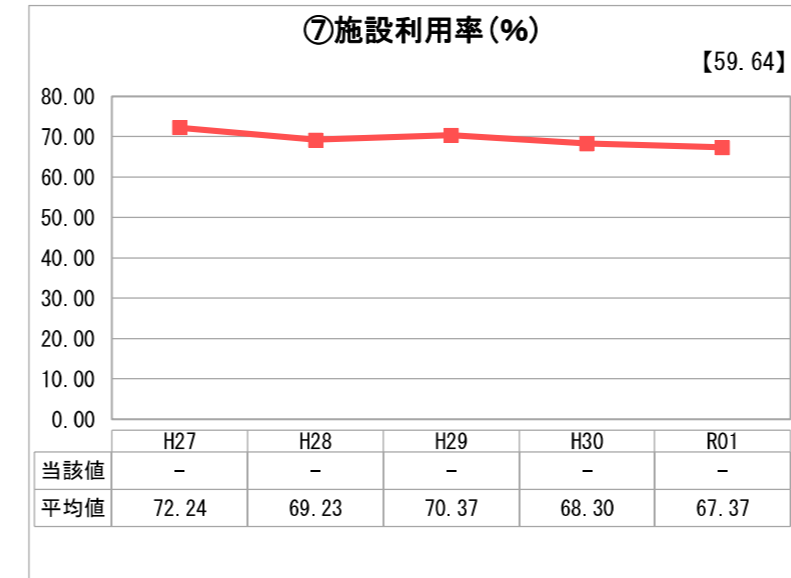
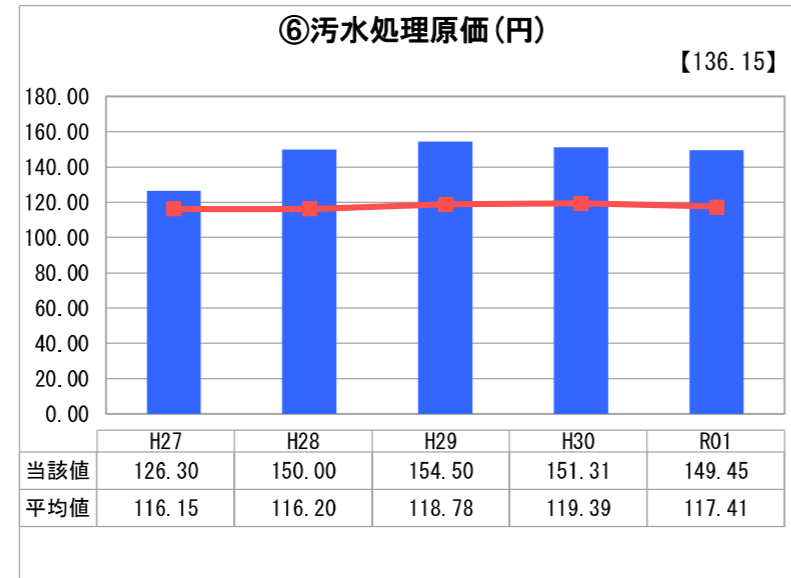
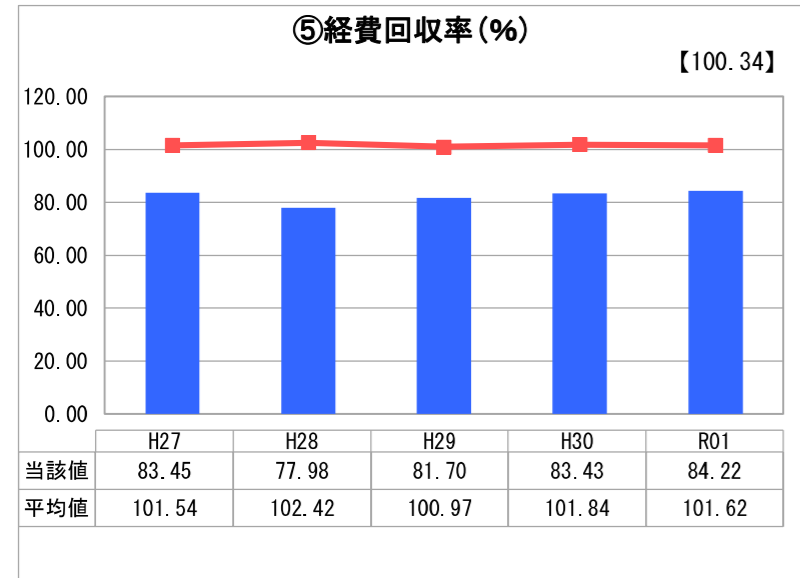
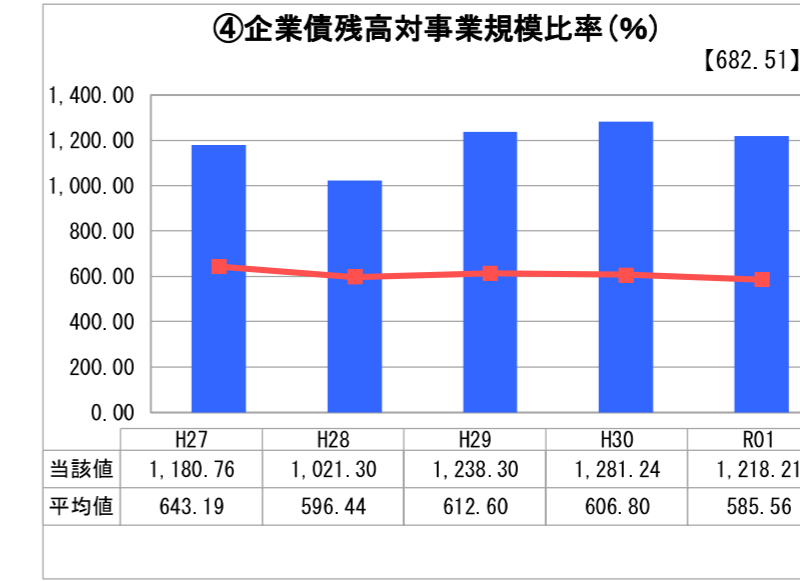
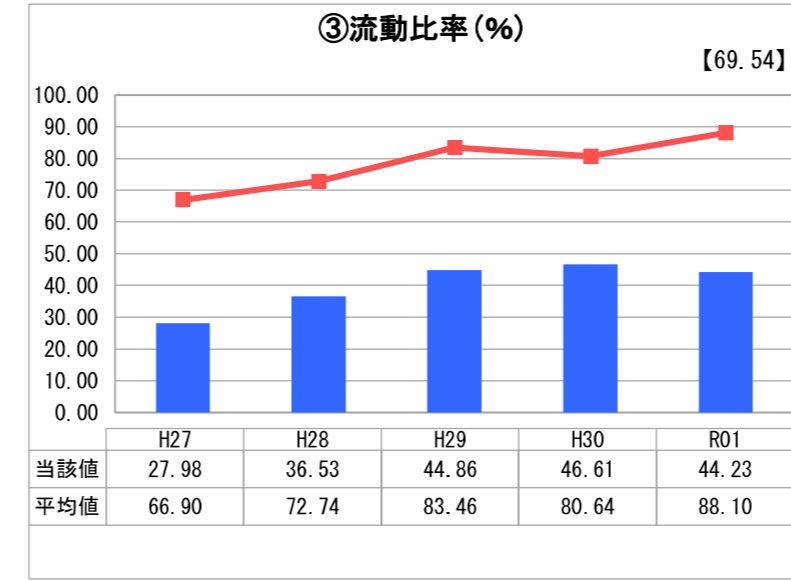
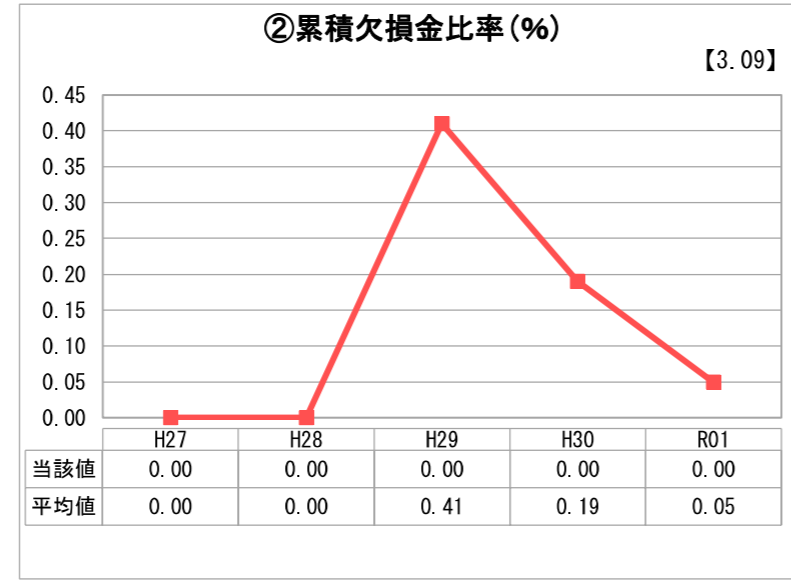
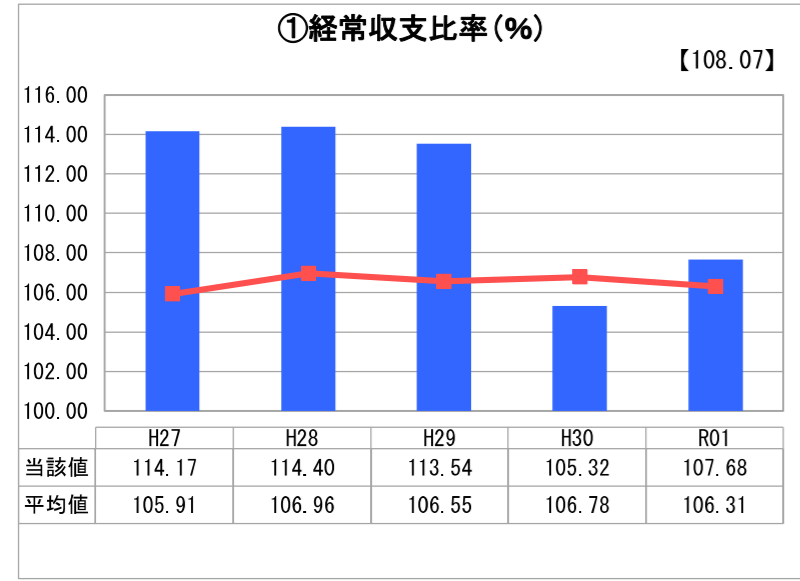
埼玉県 春日部市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Ab | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 45.04 | 89.28 | 86.52 | 2,376 |

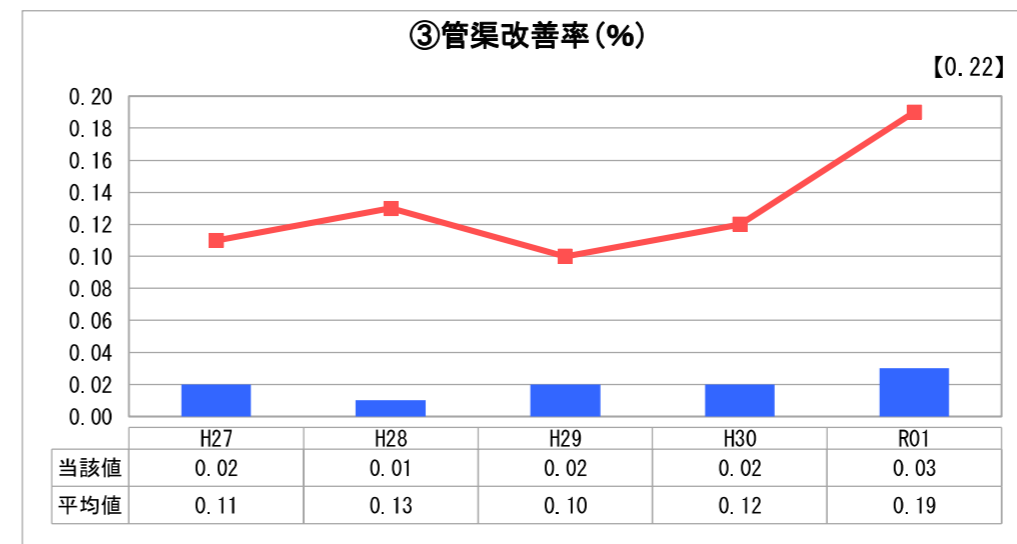
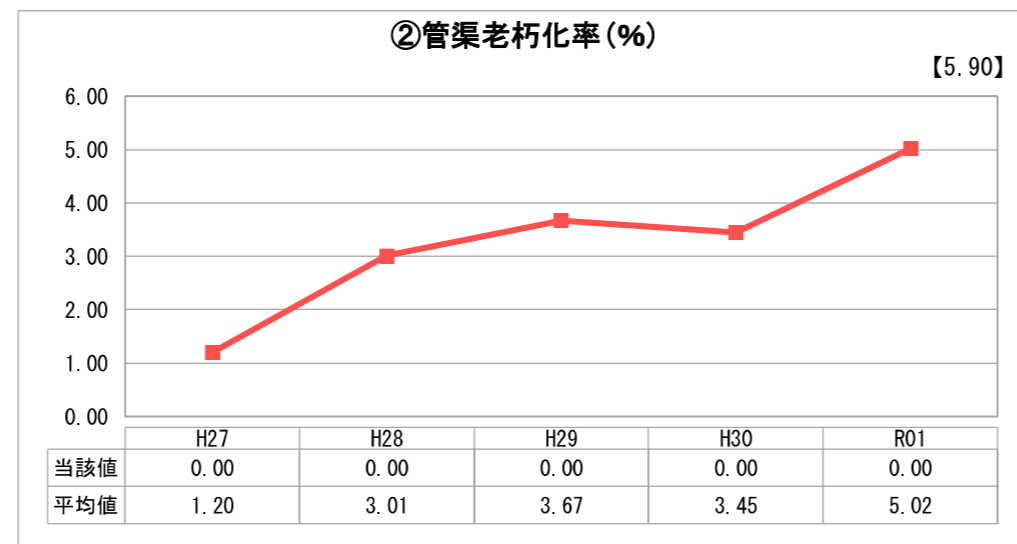
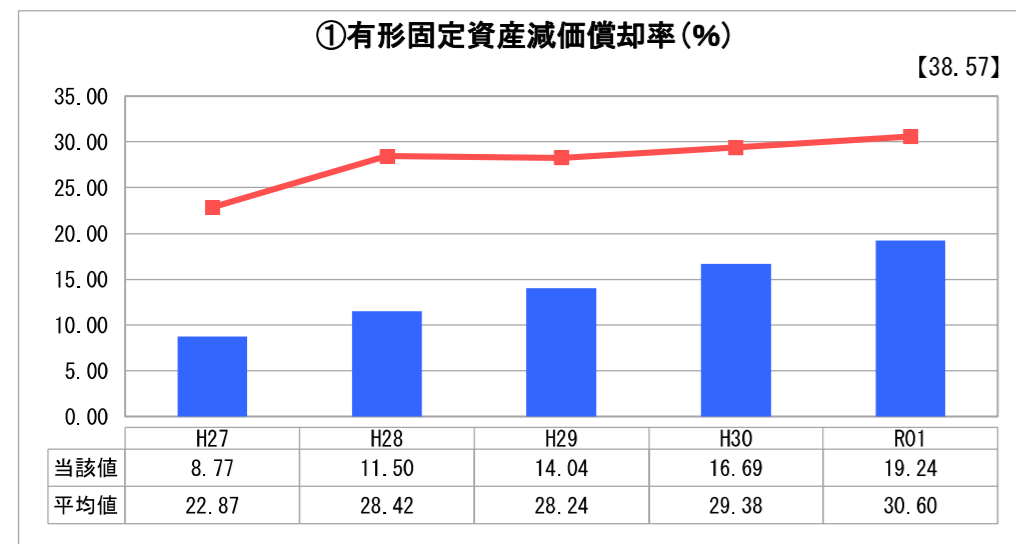
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 234,137 | 66.00 | 3,547.53 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 208,783 | 22.58 | 9,246.37 |

| グラフ凡例 |
|----------------|
| ■ 当該団体値(当該値) |
| — 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 令和元年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①②経常収支比率、累積欠損比率
 経常収支比率は100%を上回っているが、使用料収入の不足分を一般会計補助金で補てんしている状況にあり、補助金繰入額の増減に伴い、経常収支比率が増減している。引き続き、水洗化率の向上による使用料収入の増加及び不明水解消による維持管理費用を削減する必要がある。

③今後は企業債残高の減少に伴い流動比率も増加していくものと考えられるが、当面の間は100%を下回ることが想定されるため、短期的な債務に対する支払いには留意する必要がある。

④企業債残高対事業規模比率が平均を上回っているのは、初期投資の企業債や資本費平準化債の借入が債務残高に影響しているためである。今後においても企業債残高に注視し適正に管理をしていく必要がある。

⑤⑥経費回収率、汚水処理原価
 経費回収率及び汚水処理原価においては、横ばい傾向の状況にあり、今後においても引き続き、不明水の解消等有収水量の増加を図るとともに使用料の適正化について検討していく必要がある。

⑧水洗化率は、類似団体平均を若干下回っている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
 平均値と比較して低い値であり、法定耐用年数に近い資産は比較的少ないといえる。

②管渠老朽化率
 当市の値は「0」であり、法定耐用年数を超過した管渠はない。

③管渠改善率
 老朽化の度合いが低いといえる。

老朽化の程度は低いが、将来の更新時期に備えてストックマネジメント計画に基づいた計画的・効率的な維持管理に取組んでいく必要がある。

全体総括

経営状況が厳しさを増す中、策定した経営戦略に基づき、経営基盤の強化を図り、持続可能な経営が求められる。
 これに当たり、水洗化率の向上による使用料収入の増加および不明水解消による汚水処理費用の削減に取り組む必要がある。
 また、下水道管渠や中継ポンプ場施設の老朽化及び震災などの災害に対応するため、計画的・合理的な維持管理・更新を実施していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。